

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価							
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	事業評価側	自己評価	調査結果	満足度	必要性			補足	目標①
巡回・窓口相談指導事業	経営指導員が事業所を訪問し、経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善をはかり、健全な企業を育成するとともに、経営改善に資する指導を行う。	巡回窓口指導実企業数272社（非会員指導実企業数31件） 巡回窓口指導延件数840件（非会員指導延件数63件） 課題解決提案件数20件 経営革新承認件数1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 133.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0 %)	課題解決提案案件の中で補助金の申請提案を行うことができ、採択という結果を残すことができた。またコロナ関連の支援金や給付金の申請サポートも積極的に行うことができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	経営課題に対して的確に対応して業務向上に繋げるために、課題解決提案件数を引き続き目標に掲げる。		
記帳継続指導事業	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	指導対象事業者数61件（当初61件） 指導延日数364日 指導延回数759回	小規模事業者	指標	対象事業所数 (達成度 101.7 %)	指標	(達成度 %)	正しい記帳方法の指導と決算・確定申告を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付けることができた。	総合評価	A	事業評価側	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 A 必要性 A	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	経理の自計化と適正な税務申告に結び付けるとともに、現状の指導対象者数を維持する。		
講習会	小規模事業者にとって必要な知識習得や時事的な問題についての啓蒙をはかり、資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。経営革新セミナーを開催し、経営革新計画承認を目指すことを目的とする。	集団講習会2回開催 参加人数2人（内、経営革新1回、0人） 個別講習会17回開催 参加人数304人	小規模事業者	指標	集団講習会参加人数 (達成度 2.9 %)	指標	個別講習会参加人数 (達成度 92.1 %)	コロナの影響により集団講習会の多くは開催中止となったが、必要最低限の講習会及び個別相談会などの開催により、小規模事業者にとって必要な経営一般の知識習得ができ、事業者の資質向上をはかることができた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	コロナ禍の対応として集団講習会の目標数値を下げる。あわせてフォークリフト技能講習は隔年開催のため目標数値を下げる。		
若手後継者等育成事業	若手後継者が人々の行動や考え方を広く理解した上で、個々の経営に関する資質向上に取り組む。本事業の実施により参加者のスキルアップをはかり、顧客ニーズに対して柔軟に対応できる能力を身につけるとともに、参加者同士の情報交換を通してお互いの経営ノウハウを共有することをねらいとする。	経営力向上セミナーの実施 実施日時：12月17日 参加人数：8名 満足度アンケート5段階評価のうち「4」以上の割合100% 【中止】 全国大会（青年部：熊本大会、女性部：大分大会）	小規模事業者	指標	研修事業の参加者数 (達成度 26.7 %)	指標	満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 125.0 %)	青年部、女性部が経営力向上セミナーを実施し、地域リーダーとしての資質向上を目的とした研修を行うことで、個々のスキルアップに繋がった。新型コロナウイルスの影響により青年部・女性部ともに全国大会が開催中止となった。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	個々の資質向上を目的とした研修を通じて部員相互のスキルアップをはかる。コロナ禍において感染症対策を万全にし開催予定。目標は現行どおりとする。		
祭典	各種のお祭り・祭典などの開催と積極的な参画により、地域の経済活動を促進するとともに、地域の総合的な振興をはかることを目的とする。地域イベントと連携した売り出し等を行い、集客力アップを目指す。	ふじおかおいでん夏まつり（中止） ふじおか紅葉まつり 11月20～22日実施（ライトアップ）来場者数4,150人	小規模事業者	指標	地域連携イベントの実施回数 (達成度 50.0 %)	指標	各まつりの来場者数 (達成度 9.2 %)	新型コロナウイルスの影響によりふじまつり、ふじおかおいでん夏まつりは開催中止となった。紅葉まつりはライトアップのみの開催とした。	総合評価	C	事業評価側	自己評価 D 目標達成度 D	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 上げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	コロナ禍ではあるが、感染症対策を徹底し、イベント実施の目標を上げる。ただし、入場制限等に伴い、各まつりの来場者数の目標数値は下げる。		
創業支援事業	創業者に対し、経営知識の向上を目的に創業塾を開催し、創業事業計画の策定支援を行うことにより円滑な事業展開をはかる。なお、創業塾に関しては第2創業者にも参加できるよう対応する。	創業支援セミナーの実施 実施日時：11月14日 参加人数：5名 満足度アンケート「良い」以上の割合80% 実施対象：地区内の創業予定者及び創業者、第2創業者等	小規模事業者	指標	創業塾の参加人数 (達成度 100.0 %)	指標	満足度調査アンケート「良い」以上の割合 (達成度 100.0 %)	創業予定者に対して創業支援セミナーを実施した。創業事業計画の策定支援を行うことで創業者の円滑な事業展開をはかることができた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も創業事業計画策定後に定期的なフォローアップを実施し、積極的な情報提供に心掛ける。		
商店街・街づくり事業	まち全体を商店街と見立てて、商店街WEBシステムを推進して商店街・街づくりに寄与する。併せて事業者の人材育成を含め事業計画書の策定支援を行う。	商店街WEBシステムの推進 実施日時：通年 実施対象：地区内の商工業者等 参加数：13事業所	小規模事業者	指標	商店街WEBシステム参加数 (達成度 86.7 %)	指標	(達成度 %)	商店街WEBシステムを推進し、新着情報や販売情報、地図表記をすることによって地区内外に向けて消費喚起を可能にした。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	商店街WEBシステムを推進し、街づくりに寄与する。併せて商工業者の事業計画書の策定支援を行う。		
情報化推進事業	事業者等にとって有用な経営情報を取得したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。	巡回・窓口による情報化指導件数24件	小規模事業者	指標	巡回・窓口による情報化指導件数 (達成度 43.6 %)	指標	(達成度 %)	小規模事業者の情報化推進に取り組み、SNSの活用を中心とした販売促進支援を実施した。対象者の情報発信によるビジネスチャンスの拡大に繋がった。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	有用な経営情報を取得することでビジネスチャンスの拡大を目指す。		
雇用促進事業	就労者の確保・育成・定着促進をはかるため、就労の場の拡大や商工業等における意欲と能力のある担い手の育成対策を推進する。	優良従業員被表彰者3名 優秀企業被表彰者2事業所	小規模事業者	指標	優良従業員被表彰者数 (達成度 30.0 %)	指標	優秀企業被表彰数 (達成度 66.7 %)	雇用の定着をはかるきっかけ作りに繋がった。また、今回の表彰を機に現代の名工の候補者として従業員の育成をはかることができた。	総合評価	B	事業評価側	自己評価 C 目標達成度 C	調査結果 事業者への 満足度 B 必要性 B	満足度 補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	優秀企業被表彰者の対象企業が減少傾向にあるため目標値を下げる。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2020年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 藤岡商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考						
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					今後の展開・改善点等					
				指標	実績数値	目標数値	指標	実績数値	目標数値	総合評価	事業実施側の評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②				
青年部・女性部事業	商工業に携わる青年部、女性部に対し、経営に必要な知識の習得や資質の向上をはかるための講習会・研修会を開催し、小規模企業の振興・発展を目的とする。両部とも組織強化のため部員の加入増強をはかる。	青年部員24人（当初27人） 女性部員35人（当初37人） 小規模企業の振興・発展につながる講習会・研修会の開催 実施日時：10月28日 実施対象：小規模事業者等	小規模事業者	指標	青年部員数 (達成度 88.9%)			指標	女性部員数 (達成度 94.6%)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	組織強化に繋げるために加入増強に取り組む。年齢要件による脱退が多く、新規加入が見込めない為、目標数値を下げる。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定をはかるために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	中小企業共済352口、火災共済18口、小規模90口、倒産防止13口、特退共30口、中退共71口、業務災害4口、ビジネス総合2口、自動車費用2口 合計582口 健康診断受診者数 26事業所129人	小規模事業者	指標	各種共済加入者数 (達成度 114.1%)			指標	健康診断受診者数 (達成度 92.1%)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	加入推進を積極的に行い、事業者や従業員の福利厚生に寄与する。中小企業共済の加入口数の目標値をあげる。
労働保険事業	労働保険料の申告納付その他各種の届出等の事務手続きを行うことにより、事業主の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び適正な徴収をはかることを目的とする。	委託事業者数 47事業所105名	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 102.2%)			指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	労働保険の知識を深めてもらいながら、引き続き未加入事業者の解消に努めるため目標数値を上げる。
税務関係団体指導事業	青色申告会・間税会等の税務支援団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、地域社会への貢献や発展の一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	確定申告書の受付件数116件	小規模事業者	指標	確定申告受付件数 (達成度 145.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	青色申告の節税メリットや、納税と税務に関する制度を周知して青色勤奨を行い、小規模事業者等の税務の知識を高めることができた。
部会・委員会事業	各部会事業は商工会の根幹をなす組織の一つであり、その大半は小規模事業者である。これら部会事業を積極的に行うことは、小規模事業者の経営改善に直接繋がるものである。	商業部会開催回数3回 工業部会開催回数1回 合計4回	小規模事業者	指標	商業部会開催回数 (達成度 50.0%)			指標	工業部会開催回数 (達成度 16.7%)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 D	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	商業部会を中心に、地域ブランド事業の立ち上げに取り組む。部会開催数は現行のままとする。
小規模事業者持続化補助金支援事業	持続的な経営に向けた取り組みを商工会が支援し、地域の原動力となる小規模事業者の活性化をはかる。本事業は、小規模事業者の地道な販路開拓などの取り組み支援を目的とする。	小規模事業者持続化補助金支援事業所数11件	小規模事業者	指標	小規模事業者持続化補助金支援事業所数 (達成度 220.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	A	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	新たな販路開拓のための補助事業計画策定支援をする。目標数値は現行どおりとする。
専門家派遣課題解決事業	小規模事業者の高度な相談内容に対して、解決のために経営に関する専門家を事業所へ派遣して、技術や知識提供を支援することを目的とする。	専門家派遣数30回	小規模事業者	指標	専門家派遣件数 (達成度 250.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	課題解決のための高度な相談やニーズに対しても解決をはかる。目標数値をあげる。
展示会・商談会支援事業	豊田市内の1商工会議所・6商工会が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売をする展示会を開催することを目的とする。また、近隣ビジネスフェアへの参加支援やアンテナショップ等への出展支援を行い、新たな需要の開拓に寄与する。	あいち観光物産フェア 実施時期：9月5日～6日 出店事業者：2事業所 まるっと！あいち 実施時期：3月20日～21日 出店事業者：1事業所	小規模事業者	指標	展示会出展企業者数 (達成度 60.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	コロナ禍においてビジネスフェアや特産品展などの規模を縮小しての開催が見込まれるが感染防止対策を徹底し出展をサポートする。
事業計画策定支援事業	小規模事業者の価値観を明確にし、自社の経営理念を確立し、経営の強みと弱みを把握・理解した上で、課題解決のために必要な取り組みについての事業計画策定を支援する。事業計画の策定後は計画の見直しを含めた経過、改善を支援する。	事業計画策定支援事業所数14社	小規模事業者	指標	事業計画策定支援事業所数 (達成度 175.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	巡回窓口相談と、専門家派遣による事業計画策定支援を行う。目標数値を上げる。
調査・広報事業	商工業者の商品及び製品などについて、マーケット・インの考えを取り入れるため、個社の新商品・試作製品・新サービス（改良含む）などの調査を行い、各種計画の策定及び営業戦略の資料として活用してもらう。また、日経テレコンからPOS情報を中心に、個社にあった各種データを入手し、全国的なトレンドも随時提供する。	日経テレコンサービスの情報提供数8件	小規模事業者	指標	日経テレコン情報提供数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施側の評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果	事業者への 必要性 B	満足度	補足	目標①	目標②	個社の新商品・試作製品・新サービスなどの調査を行い、日経テレコンから個社にあったデータを入手し情報提供する。目標値を上げる。